

全防協発第77号
2022年3月9日

会 員 各 位

一般社団法人全国防水工事業協会
経営委員長 内 田 浩 文

「防水工事の標準見積書について」（2022年3月改訂版）の送付について

拝啓 早春の候、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会の諸事業にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、当協会は社会保険未加入問題について「建設キャリアアップシステム
処遇改善推進協議会」（※）に参画し、行政や他の建設業団体と共に今まで継続
して取り組んでまいりました。

今回の「防水工事の標準見積書について」（2022年3月改訂版）では、特に
2022年3月から適用される「公共工事設計労務単価」を反映させて作成してお
ります。同労務単価では、全国全職種単純平均で前年度比2.5%引上げとなって
います。

つきましては、本標準見積書を参考として、工事費見積り時から保険料を払
うための法定福利費を必要経費として見積書に内訳明示し、法定福利費の
確保・社会保険の加入促進に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

敬具

※. 2021年12月「建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会」を発展的に改組
して設立。

防水工事の標準見積書について

2022年 3月

一般社団法人 全国防水工事業協会

〔目次〕

防水工事の標準見積書について	1
2021年度の各保険の保険料率について	2
2021年度 都道府県別 社会保険料率一覧	3
資料出典内容一覧	4
メーカーの設計価格及び労務費（2021年度平均値）	4
防水工事現場における平面部と立上り部の 施工面積比率について	4
設計価格構成の平均労務費の地域調整について	4
2022年3月から適用する都道府県別公共工事 設計労務単価（防水工）	5
各防水工法における法定福利費率の計算式	
（資料1）メンブレン防水	6
（資料2）セメント系防水	8
（資料3）シーリング防水	9
法定福利費率の計算（愛知県の計算例）	
・アスファルト防水	10
・合成高分子ルーフィングシート防水	10
・塗膜防水	11
・ポリマーセメント系防水	12
・ケイ酸質系防水	12
・シーリング防水	13
各防水工法における法定福利費率	14
防水工事の標準見積書	15

防水工事の標準見積書について

(一社)全国防水工事業協会

(目的)

建設産業の持続的な発展に必要な人材の確保と企業間の健全な競争環境の構築には、行政と建設業者が一体となって社会保険の加入を促進する必要がある。

このため、全防協は、防水工事費の見積書に事業者として負担する法定福利費の額を明示するための標準見積書を作成することにより請負契約の見積もり時から、各社の実情に応じた法定福利費の額を簡便に算定できるよう作成手順書を策定し、適正な法定福利費の確保に努めるものとする。

(見積りの方法)

防水工事費に含まれる法定福利費は、3工法に分類した工法毎に「法定福利費率」を積算し、これを見積書に明記することにより、請負契約の見積もり時から適正な法定福利費の確保に努めるものとする。

これを会員自ら徹底するとともに、下請企業に対しても周知・徹底等の要請を行うものである。

(防水工事標準見積書作成の考え方)

防水工事には、大別してアスファルト防水、シート防水、塗膜防水、セメント系防水、シーリング防水の工法があり、各工法において防水材料の種類により、さらに細分化されている。

国土交通省の官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)第9章防水工事の2節アスファルト防水には24種類の仕様が規定されているが、実際には多くの防水材料メーカーがそれぞれ仕様を定めているため、アスファルト防水だけで530もの仕様が存在している。

さらに現場における建物の大小・形状、立ち上がりの有無等により、その労務費は変動してしまう。

このような事情を勘案した結果、数多くの工法・仕様がある防水工事ではその仕様毎に法定福利費の内訳を明示した標準見積書を作成することには無理があるため、代表的なメンブレン防水(アスファルト・塗膜・シート防水の総称)とセメント系防水(ポリマーセメント系防水・ケイ酸質系防水)、シーリング防水の3工法に分類し、それぞれについて㎡当りの法定福利費の比率(%)を算出した。

なお、国土交通省より法定福利費の算出方法として、①当該工事に係る労務費の総額を算出し、それに法定福利費の保険料率を乗じる方法、②工事費の総額に平均的な法定福利費の割合を乗じて算出する方法、③工事数量に数量当たりの平均的な法定福利費を乗じて算出する方法、の3通りが示されているが、当協会は防水工事の標準見積書における法定福利費の算出方法として、②の総額方式を採用することとした。

2021年度の各保険の保険料率について

※. 協会けんぽ東京支部 加入の場合

○事業主負担

①雇用保険	健康保険			③厚生年金保険	法定福利費 (①+②+③)
	健康保険料率	介護保険料率	②健康保険		
0.8%	4.920%	+ 0.498%	= 5.418%	9.510%	15.728%

[各保険料率の根拠]

①雇用保険 : 建設の事業に係る保険料率 0.8% (前年度から変更なし)

②健康保険 :

健康保険料率 : 9.84% (協会けんぽ東京支部) を事業主・被保険者で折半。

介護保険料率 : 1.80% (協会けんぽ東京支部で介護保険第2号被保険者) を事業主・被保険者で折半し、介護保険の対象である40歳以上64歳以下の割合55.3% (協会けんぽ 令和元年度事業年報) を乗じた比率。

※. 介護保険料率の算式 = $1.80\% / 2 \times 55.3\% = 0.498\%$
(小数点第3位未満四捨五入)

③厚生年金保険 : 18.3% を事業主・被保険者で折半。子ども・子育て拠出金率0.36% を全額事業主負担。

※1. 厚生年金保険料率の算式

$$18.3\% / 2 + 0.36\% = 9.510\%$$

※2. 厚生年金保険の保険料率は、平成29年度まで毎年引き上げが行なわれてきましたが、今後法律改正が行われない限り、現行の率(18.3%)が維持されます。

※3. 2021年度の子ども・子育て拠出金率は、0.36%で前年度から据え置きとなりました。

2021年度 都道府県別 社会保険料率一覧

都道府県名	雇用保険料率 事業主負担分	健康保険料率 事業主負担分	介護保険料率 事業主負担分	厚生年金保険料率 事業主負担分	保険料率合計 (全て加入の場合)
北海道	0.8%	5.225%	0.498%	9.510%	16.033%
青森県	0.8%	4.980%	0.498%	9.510%	15.788%
岩手県	0.8%	4.870%	0.498%	9.510%	15.678%
宮城県	0.8%	5.005%	0.498%	9.510%	15.813%
秋田県	0.8%	5.080%	0.498%	9.510%	15.888%
山形県	0.8%	5.015%	0.498%	9.510%	15.823%
福島県	0.8%	4.820%	0.498%	9.510%	15.628%
茨城県	0.8%	4.870%	0.498%	9.510%	15.678%
栃木県	0.8%	4.935%	0.498%	9.510%	15.743%
群馬県	0.8%	4.830%	0.498%	9.510%	15.638%
埼玉県	0.8%	4.900%	0.498%	9.510%	15.708%
千葉県	0.8%	4.895%	0.498%	9.510%	15.703%
東京都	0.8%	4.920%	0.498%	9.510%	15.728%
神奈川県	0.8%	4.995%	0.498%	9.510%	15.803%
新潟県	0.8%	4.750%	0.498%	9.510%	15.558%
富山県	0.8%	4.795%	0.498%	9.510%	15.603%
石川県	0.8%	5.055%	0.498%	9.510%	15.863%
福井県	0.8%	4.990%	0.498%	9.510%	15.798%
山梨県	0.8%	4.895%	0.498%	9.510%	15.703%
長野県	0.8%	4.855%	0.498%	9.510%	15.663%
岐阜県	0.8%	4.915%	0.498%	9.510%	15.723%
静岡県	0.8%	4.860%	0.498%	9.510%	15.668%
愛知県	0.8%	4.955%	0.498%	9.510%	15.763%
三重県	0.8%	4.905%	0.498%	9.510%	15.713%
滋賀県	0.8%	4.890%	0.498%	9.510%	15.698%
京都府	0.8%	5.030%	0.498%	9.510%	15.838%
大阪府	0.8%	5.145%	0.498%	9.510%	15.953%
兵庫県	0.8%	5.120%	0.498%	9.510%	15.928%
奈良県	0.8%	5.000%	0.498%	9.510%	15.808%
和歌山県	0.8%	5.055%	0.498%	9.510%	15.863%
鳥取県	0.8%	4.985%	0.498%	9.510%	15.793%
島根県	0.8%	5.015%	0.498%	9.510%	15.823%
岡山県	0.8%	5.090%	0.498%	9.510%	15.898%
広島県	0.8%	5.020%	0.498%	9.510%	15.828%
山口県	0.8%	5.110%	0.498%	9.510%	15.918%
徳島県	0.8%	5.145%	0.498%	9.510%	15.953%
香川県	0.8%	5.140%	0.498%	9.510%	15.948%
愛媛県	0.8%	5.110%	0.498%	9.510%	15.918%
高知県	0.8%	5.085%	0.498%	9.510%	15.893%
福岡県	0.8%	5.110%	0.498%	9.510%	15.918%
佐賀県	0.8%	5.340%	0.498%	9.510%	16.148%
長崎県	0.8%	5.130%	0.498%	9.510%	15.938%
熊本県	0.8%	5.145%	0.498%	9.510%	15.953%
大分県	0.8%	5.150%	0.498%	9.510%	15.958%
宮崎県	0.8%	4.915%	0.498%	9.510%	15.723%
鹿児島県	0.8%	5.180%	0.498%	9.510%	15.988%
沖縄県	0.8%	4.975%	0.498%	9.510%	15.783%

※1. 雇用保険料率 厚生労働省ホームページ(2021年度の雇用保険料率について)

※2. 健康保険料率 全国健康保険協会(協会けんぽ)ホームページ [2021年度保険料額表]
 厚生年金保険料率

※3. 介護保険料率 厚生労働省保険局「健康保険・船員保険被保険者実態調査」

○資料出典内容一覧

防水種別		設計価格	労務費	市場比率
メンブレン	アスファルト防水	日本防水材料協会(JWMA)の メーカー5社の平均	経済調査会 改訂25版 工事歩掛要覧より	2011年版 矢野経済研究所 防水材料市場白書
	合成高分子ルーフィング 防水	日本防水材料協会(JWMA)の メーカー9社の平均	JWMAのメーカー 9社の 設計価格構成の平均労務費	2011年版 矢野経済研究所 防水材料市場白書
	塗膜防水	日本防水材料協会(JWMA)の メーカー10社の平均	JWMAのメーカー10社の 設計価格構成の平均労務費	2011年版 矢野経済研究所 防水材料市場白書
シーリング防水		公表材料価格より設計労務単価を 考慮し設定	経済調査会 改訂25版 工事歩掛要覧より	2011年 日本シーリング材 工業会 生産数量から算出
セメント系防水 (ポリマーセメント系・ケイ酸質系)		セメント系防水材料メーカー8社の 公表設計価格の平均	セメント系防水材料メーカー8社の公表 設計価格構成の労務費の平均	メーカー団体(※)から日本建築 学会に提出した施工面積統計

※、ポリマーセメント系塗膜防水協議会、ケイ酸質系塗布防水材料協議会の2団体

○メーカー設計価格及び労務費の平均値

防水種別		部位など	設計価格	設計価格構成の平均労務費
メンブレン	アスファルト防水	平面部	13,298 円/㎡	—
		立上り	15,010 円/㎡	—
	合成高分子ルーフィング 防水	平面部	11,572 円/㎡	3,064 円/㎡
		立上り	8,754 円/㎡	3,124 円/㎡
	塗膜防水	平面部	9,562 円/㎡	2,445 円/㎡
		立上り	10,115 円/㎡	3,123 円/㎡
シーリング防水		1成分形	6,192.0円/ℓ	—
		2成分形	3,022.0円/ℓ	—
セメント系	ポリマーセメント系防水	平面部	5,960 円/㎡	2,122 円/㎡
		立上り	5,895 円/㎡	2,142 円/㎡
	ケイ酸質系塗布防水	平面部・立上りの区別なし	3,083.3 円/㎡	1,204.7 円/㎡

○防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について

会員企業に対してアンケート調査を実施して集計(平成25年5月)

〔メンブレン防水〕	111件
平面部 …	84.1%
立上り部 …	15.9%
計	100.0%
〔セメント系防水〕	28件
平面部 …	34.7%
立上り部 …	65.3%
計	100.0%

○設計価格構成の平均労務費を使用するときは、東京の地域調整率を1として地域調整を行う。

その地区の設計価格構成の労務費 ÷ 東京都の平均労務費 = 地域調整率

2022年度都道府県別公共工事設計労務単価(防水工・普通作業員)

所定労働時間8時間当たりの金額(単位:円)

都道府県名	防水工	普通作業員	都道府県名	防水工	普通作業員
北海道	27,200	18,000	大阪府	24,700	19,600
秋田県	24,700	18,900	京都府	24,600	20,100
青森県	24,100	18,600	滋賀県	24,600	19,200
岩手県	24,300	20,100	奈良県	24,600	19,700
宮城県	26,500	20,000	和歌山県	24,400	19,900
山形県	27,700	18,900	兵庫県	23,800	19,800
福島県	27,300	19,800	近畿平均	24,450	19,717
東北平均	25,767	19,383	岡山県	24,100	18,100
茨城県	27,300	21,100	広島県	23,300	18,900
群馬県	25,900	20,900	山口県	23,000	17,400
栃木県	28,200	19,800	鳥取県	23,800	15,500
埼玉県	29,300	21,400	島根県	22,700	16,700
千葉県	29,400	21,100	中国平均	23,380	17,320
東京都	30,300	22,300	徳島県	22,800	19,300
神奈川県	27,800	22,300	香川県	22,900	19,800
山梨県	27,400	22,200	愛媛県	22,600	17,300
長野県	25,600	20,400	高知県	22,600	17,600
関東・甲信平均	27,911	21,278	四国平均	22,725	18,500
静岡県	27,600	21,700	福岡県	23,500	20,000
愛知県	27,100	20,600	大分県	23,500	17,200
三重県	27,000	19,900	佐賀県	23,600	17,100
岐阜県	25,100	20,600	長崎県	23,300	18,000
中部平均	26,700	20,700	熊本県	23,500	18,400
新潟県	23,800	19,900	宮崎県	23,200	16,800
富山県	23,800	21,100	鹿児島県	23,300	18,100
石川県	24,700	21,800	沖縄県	31,100	19,600
福井県	23,900	18,000	九州・沖縄平均	24,375	18,150
北陸平均	24,050	20,200	全国平均	24,779	18,853

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式

〔平面部〕	※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a)		法定福利費率(b)	歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i)
防水工	×	0.15728	(c)	(d) + (f)	(h)	(g) ÷ (h) × 100
普通作業員	×	0.15728	(c)	= (g)		

〔立上り部〕	※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a')		法定福利費率(b')	歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i')
防水工	×	0.15728	(c')	(d') + (f')	(h')	(g') ÷ (h') × 100
普通作業員	×	0.15728	(c')	= (g')		

〔アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕	※5	
平面部	84.1%	× (i) = (j)
立上り部	15.9%	× (i') = (j')

〔アスファルト防水工事における法定福利費比率〕

$$(j) + (j') = X$$

- ※1. 2022年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載（5頁）
 ※2. 2021年度の各保険の保険料率について（2頁）〔東京都の場合〕
 ※3. 「工事歩掛要覧」（改訂25版）〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
 ※4. 日本防水材料協会（JWMA）のメーカー5社平均値を記載例として掲載（4頁）
 ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕

※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b)	= m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費
(a)	0.15728 (c)	(c) ÷ (d) × 100
		法定福利費率
		= (e)

〔立上り部〕

※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b')	= m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費
(a')	0.15728 (c')	(c') ÷ (d') × 100
		法定福利費率
		= (e')

〔合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

平面部	84.1%	× (e) = (f)
立上り部	15.9%	× (e') = (f')

〔合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率〕

$$(f) + (f') = Y$$

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）
 ※2. 2021年度の各保険の保険料率について（2頁）〔東京都の場合〕
 ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）
 ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

3. 塗膜防水の法定福利費率の計算式

[平面部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ \text{(a)} & & & & 0.15728 & & \text{(c)} \end{array}$$

※3	
㎡当りの法定福利費 (c)	平均設計単価 (d) × 100
÷	
法定福利費率	
= (e)	

[立上り部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b')} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ \text{(a')} & & & & 0.15728 & & \text{(c')} \end{array}$$

※3	
㎡当りの法定福利費 (c')	平均設計単価 (d') × 100
÷	
法定福利費率	
= (e')	

[塗膜防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4

平面部	84.1%	×	(e)	=	(f)
立上り部	15.9%	×	(e')	=	(f')

[塗膜防水工事における法定福利費比率]

$$(f) + (f') = Z$$

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※2. 2021年度の各保険の保険料率について（2頁） [東京都の場合]
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

4. メンブレン防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率	×	計算値	×	調整値
アスファルト防水	0.310	×	X	=	(X1)
合成高分子系ルーフィングシート防水	0.354	×	Y	=	(Y1)
塗膜防水	0.336	×	Z	=	(Z1)
合計					(X1)+(Y1)+(Z1)

[1成分形シーリング材]	※1		※2		修正価格
材料種別	平均価格		市場比率		
シリコーン	(a1)	×	0.4381	=	(b1)
変成シリコーン	(a2)	×	0.3614	=	(b2)
ポリウレタン系	(a3)	×	0.2005	=	(b3)
合計					(c)

$$10\text{当りの材料費 (c)} \times \text{使用量 } 0.055 = \text{m当りの材料費 (d)}$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					(d)
補足材	(d) × 10%				(e)
	※3		※4		
防水工	0.027 × 設計労務単価(f)	=			(g)
その他	上記の13%				(h)
	[(d)+(e)+(g)]	×	0.13		
合計					(i)

$$m\text{当りの法定福利費(j)} = (g) \times 0.15728 \quad ※5$$

$$\text{法定福利費率(k)} = (j) \div (i) \times 100$$

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(改訂25版)【経済調査会刊】を記載例として掲載

※4. 2022年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2021年度の各保険の保険料率について(2頁)【東京都の場合】

[2成分形シーリング材]	※1		※2		修正価格
材料種別	平均価格		市場比率		
シリコーン	(a1')	×	0.0465	=	(b1')
変成シリコーン	(a2')	×	0.4454	=	(b2')
ポリサルファイド	(a3')	×	0.0912	=	(b3')
ポリウレタン系	(a4')	×	0.4169	=	(b4')
合計					(c')

$$10\text{当りの材料費 (c')} \times \text{使用量 } 0.25 = \text{m当りの材料費 (d')}$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					(d')
補足材	(d') × 10%				(e')
	※3		※4		
防水工	0.039 × 設計労務単価(f')	=			(g')
その他	上記の13%				(h')
	[(d')+(e')+(g')]	×	0.13		
合計					(i')

$$m\text{当りの法定福利費(j')} = (g') \times 0.15728 \quad ※5$$

$$\text{法定福利費率(k')} = (j') \div (i') \times 100$$

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(改訂25版)【経済調査会刊】を記載例として掲載

※4. 2022年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2021年度の各保険の保険料率について(2頁)【東京都の場合】

○シーリング防水の法定福利費率(日本シーリング材工業会の生産数量の統計より)

	市場占有率		計算値		合計値
1成分形シーリング材	0.552	×	(k)	=	(k1)
2成分形シーリング材	0.448	×	(k')	=	(k'1)
合計					(k1)+(k'1)

愛知県の計算例 (メンブレン防水)

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式(A-1仕様)

〔平面部〕	※1	※2	※3		㎡当りの法定福利費	※4	法定福利費率(i)
設計労務単価(a)	法定福利費率(b)	×	歩掛	=		平均設計単価	
27,100	0.15763	×	0.081	=	346.01 + 84.427	11,660円/㎡	430.44 ÷ 11,660 × 100
20,600	0.15763	×	0.026	=	= 430.44	(A-1仕様)	3.692

〔立上り部〕	※1	※2	※3		㎡当りの法定福利費	※4	法定福利費率(i')
設計労務単価(a')	法定福利費率(b')	×	歩掛	=		平均設計単価	
27,100	0.15763	×	0.130	=	555.33 + 133.13	16,040円/㎡	688.46 ÷ 16,040 × 100
20,600	0.15763	×	0.041	=	= 688.46	(A-1仕様)	4.292

〔アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕	※5
平面部	84.1% × 3.692 = 0.03105
立上り部	15.9% × 4.292 = 0.00682

〔アスファルト防水工事(A-1仕様)における法定福利費比率〕

0.03105 + 0.00682 = 0.03787 ⇒ アスファルト防水の全仕様の法定福利費率の平均値は 0.03413

- ※1. 2022年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
- ※2. 2021年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. 「工事歩掛要覧」(改訂25版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
- ※4. 日本防水材料協会(JWMA)のメーカー5社平均値を記載例として掲載(A-1仕様)
- ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b)	=	㎡当りの法定福利費	㎡当りの法定福利費
3,064 × 0.8944 × 0.15763	=	431.97	431.97 ÷ 11,572 × 100
			法定福利費率
			= 3.733

〔立上り部〕	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b')	=	㎡当りの法定福利費	㎡当りの法定福利費
3,124 × 0.8944 × 0.15763	=	440.43	440.43 ÷ 8,754 × 100
			法定福利費率
			= 5.031

〔合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

平面部	84.1%	×	3.733	=	0.031395
立上り部	15.9%	×	5.031	=	0.007999

〔合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率〕

0.031395 + 0.007999 = 0.039394

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※2. 2021年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

3. 塗膜防水の法定福利費率の計算式

[平面部]

$$\begin{array}{rcccl} \text{※1} & & & \text{※2} & \\ \text{平均労務費} \times \text{地域調整率} \times \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} & & \\ 2,445 & \times & 0.8944 & \times & 0.15763 & = & 344.70 \end{array}$$

※3	
㎡当りの法定福利費	平均設計単価
344.70	9,562
÷	×
	100
法定福利費率	
= 3.6050	

[立上り部]

$$\begin{array}{rcccl} \text{※1} & & & \text{※2} & \\ \text{平均労務費} \times \text{地域調整率} \times \text{法定福利費率(b')} & = & \text{㎡当りの法定福利費} & & \\ 3,123 & \times & 0.8944 & \times & 0.15763 & = & 440.29 \end{array}$$

※3	
㎡当りの法定福利費	平均設計単価
440.29	10,115
÷	×
	100
法定福利費率	
= 4.3529	

[塗膜防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4

$$\begin{array}{rclcl} \text{平面部} & 84.1\% & \times & 3.6050 & = & 0.03032 \\ \text{立上り部} & 15.9\% & \times & 4.3529 & = & 0.006921 \end{array}$$

[塗膜防水工事における法定福利費比率]

$$0.03032 + 0.006921 = 0.03724$$

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※2. 2021年度の各保険の保険料率について（2頁）
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

4. メンブレン防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率	計算値	調整値	
アスファルト防水	0.310	× 0.03413(※)	=	0.01058
合成高分子系ルーフィングシート防水	0.354	× 0.03939	=	0.01394
塗膜防水	0.336	× 0.03724	=	0.01251
				0.03703

※. アスファルト防水全仕様の計算値

1. ポリマーセメント系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕

$$\begin{array}{ccccccc} & ※1 & & & ※2 & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率}(b) & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,122 & & 0.8944 & & 0.15763 & & 299.17 \end{array}$$

		※3	
㎡当りの法定福利費		平均設計単価	
299.17	÷	5,960	× 100
法定福利費率			
= 5.0196			

〔立上り部〕

$$\begin{array}{ccccccc} & ※1 & & & ※2 & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率}(b') & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,142 & & 0.8944 & & 0.15763 & & 301.98 \end{array}$$

		※3	
㎡当りの法定福利費		平均設計単価	
301.98	÷	5,895	× 100
法定福利費率			
= 5.1228			

〔ポリマーセメント系防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

平面部	34.7%	×	5.0196	=	0.0174180
立上り部	65.3%	×	5.1228	=	0.0334519

〔ポリマーセメント系防水工事における法定福利費比率〕

$$0.017418 + 0.033452 = 0.05087$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 2021年度の各保険の保険料率について（2頁）

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

2. ケイ酸質系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部・立上り部の区別なし〕

$$\begin{array}{ccccccc} & ※1 & & & ※2 & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率}(b) & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 1,204.7 & & 0.8944 & & 0.15763 & & 169.84 \end{array}$$

		※3	
㎡当りの法定福利費		平均設計単価	
169.84	÷	3083.3	× 100
法定福利費率			
= 5.509			

〔ケイ酸質系防水工事における法定福利費比率〕

$$5.509$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 2021年度の各保険の保険料率について（2頁）

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

3. セメント系防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率		計算値		調整値
ポリマーセメント系防水	0.7551	×	0.05087	=	0.03841
ケイ酸質系防水	0.2449	×	0.05509	=	0.01349
合計					0.05190

愛知県の計算例

(シーリング防水)

[1成分形シーリング材]	※1		※2		
材料種別	平均価格		市場比率		修正価格
シリコーン	5935.0	×	0.4381	=	2600.1
変成シリコーン	6786.3	×	0.3614	=	2452.6
ポリウレタン系	5682.5	×	0.2005	=	1139.3
合計					6192.0

10当りの材料費		使用量		m当りの材料費
6192.0	×	0.055	=	340.6

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					340.6
補足材	340.6 × 10%				34.1
防水工	※3	※4			
その他	0.027 × 27,100	=			731.7
	上記の13%				
	[340.6 + 34.1 + 731.7]	×	0.13		143.832
合計					1250.2

m当りの法定福利費(j)	731.7 × 0.15763	=	115.34	※5
法定福利费率(k)	115.34 ÷ 1250.2 × 100	=	9.226	

- ※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載
 ※2. 日本シーリング材工業会の生産量より
 ※3. 「工事歩掛要覧」(改訂25版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
 ※4. 2022年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
 ※5. 2021年度の各保険の保険料率について(2頁)

[2成分形シーリング材]	※1		※2		
材料種別	平均価格		市場比率		修正価格
シリコーン	6,483.3	×	0.0465	=	301.5
変成シリコーン	3,697.5	×	0.4454	=	1646.9
ポリサルファイド	3,292.5	×	0.0912	=	300.3
ポリウレタン系	1,855.0	×	0.4169	=	773.3
合計					3022.0

10当りの材料費		使用量		m当りの材料費
3022.0	×	0.25	=	755.5

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					755.5
補足材	755.5 × 10%				75.55
防水工	※3	※4			
その他	0.039 × 27,100	=			1056.9
	上記の13%				
	[755.5 + 75.55 + 1056.9]	×	0.13		245.43
合計					2133.37

m当りの法定福利費(j')	1056.9 × 0.15763	=	166.60	※5
法定福利费率(k')	166.60 ÷ 2,133.37 × 100	=	7.809	

- ※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載
 ※2. 日本シーリング材工業会の生産量より
 ※3. 「工事歩掛要覧」(改訂25版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
 ※4. 2022年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
 ※5. 2021年度の各保険の保険料率について(2頁)

○シーリング防水の法定福利费率(日本シーリング材工業会の生産数量の統計より)

	市場占有率		計算値		合計値
1成分形シーリング材	0.552	×	9.226	=	5.0928
2成分形シーリング材	0.448	×	7.809	=	3.4984
合計					8.591

各防水工法における法定福利費率

防水種別 支部	メンブレン防水(資料1)			セメント系防水(資料2)			シーリング防水(資料3)		
	最低	～	最高	最低	～	最高	最低	～	最高
北海道		～	3.752%		～	5.299%		～	8.751%
東北	3.302%	～	3.777%	4.623%	～	5.326%	8.187%	～	8.696%
関東・甲信	3.486%	～	4.124%	4.872%	～	5.791%	8.351%	～	8.848%
中部	3.438%	～	3.757%	4.795%	～	5.254%	8.318%	～	8.599%
北陸	3.229%	～	3.429%	4.499%	～	4.761%	8.055%	～	8.338%
近畿	3.305%	～	3.425%	4.606%	～	4.788%	8.238%	～	8.385%
中国	3.108%	～	3.319%	4.364%	～	4.656%	8.033%	～	8.274%
四国	3.119%	～	3.192%	4.364%	～	4.438%	8.054%	～	8.126%
九州・沖縄	3.154%	～	4.213%	4.432%	～	5.964%	8.055%	～	9.045%

(注) 1. 各支部の法定福利費率は、一例として2022年度公共工事設計労務単価から算出したものであり、この数値の使用を義務付けるものではありません。

2. 各支部の法定福利費率は、参考資料として全防協で試算したものであり、建物の大小・難易度等を勘案して、各自算出したものを使用して下さい。

御見積書

年月日
見積番号 第 号

株式会社 国交建設 御中

防水工業株式会社

別紙内訳書の通り御見積の申し上げます

合計金額 ￥ 乙

工 事 名	工 事 場 所	施 工 期 間	
全防ビル 精 算 条 件	東京都千代田区 御 支 払 条 件	見 積 有 効 期 限 ~	
一式無増減、実数、 実測	なし	3ヶ月	
		特 記 事 項	

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
防水工事						
屋根						
断熱アスファルト保護防水	AI-2同等品 A種押出法ポリスチレンフォーム 保温板3種T60共	m ²	a	a'	a''	
屋上立上り						
アスファルト保護防水		m ²	b	b'	b''	
4F 屋根						
加硫露出シート防水	t=1.2mm シルバー仕上げ	m ²	c	c'	c''	
立上り						
加硫露出シート防水	t=1.2mm シルバー仕上げ H1550	m	d	d'	d''	
(小計)				$A=a'+b'+c'+d''$		
I階縦横目地シート防水	15*10+ハック	m	e	e'	e''	
建具枠廻りシート防水	PS 15*10	m	f	f'	f''	
(小計)					$B=e''+f''$	
EVピット						
壁 ポリマーセメント系塗布防水		m ²	g	g'	g''	
防水水槽						
床 ポリマーセメント系塗布防水		m ²	h	h'	h''	
(小計)					$C=g''+h''$	
工事費 計					$V=A+B+C$	

